

vol.
123
2024
Spring

市民活動情報誌

おらみネット

Collaboration Paper
for Voluntary Network in Ohmi

人と地域をつなぐ事業所さん
VIVA! CHOUJU!
市民活動レポート
未来塾17期生の虫の目・鳥の目・魚の目
応援インフォメーション

〔特集〕
公民館、使ってますか。

私設公民館mame Co- 館長
長砂 伸也さん
▶ご紹介はP2

Contents

〔特集〕公民館、使ってますか。	P2~4
人と地域とつながる事業所さん	P5
VIVA! CHOUJU!	P5
市民活動レポート	P6~7
未来塾17期生の虫の目・鳥の目・魚の目	P7
応援インフォメーション	P8



Ohmi Network Center

淡海ネットワークセンター

公益財団法人 淡海文化振興財団

<https://ohmi-net.com/>



特集

未来に - 向かって - つなげる - つづける

公民館、使っていますか。

地域に必ずある「公民館」。最近使ったことがありますか？

公民館とは社会教育法によって設立されており、その数は全国で約14000館、大手コンビニエンスストアぐらいあるそうです。しかし、調べてみると、その数は減少傾向にあるようです。

そのなかで3年前に湖南省石部に誕生した「私設公民館 mame Co-(マメコー)」。こちらは、なぜいま、公民館なのでしょう。そもそも「公民館」ってなんだろう？一緒に考えてみませんか。

さて、地域で活動するにあたり、拠点探しに苦労されている話をよく聞きます。しかし、その候補に「公民館」はなかなか上がりません。地域にあるのになぜでしょう？「制約が厳しい」、「ニーズに合わない」など、様々な理由はあるでしょうが、まずは滋賀県の公民館の現状を教えてください。滋賀県教育委員会事務局生涯学習課を訪ねました。

■滋賀県の公民館はどうなっているの？

担当者のお話によると、滋賀県19市町あるなかで、現在コミュニティセンターの数が公民館の数より少し上回ってきているとのこと。しかしながら、公民館は社会教育の大切な場であることは変わらず、そのうえで新しいネットワーク作りの拠点となればと、様々な活用策を模索されているそうです。

そのなかで県内のある町の公民館では、公民館のなかに「地域学校協働本部」を置き、地域と学校をつなぎ、両者で運営するコミュニティ・スクール（学校運営協議会を設置した学校）でより一体的な推進を図り、地域の学校づくりに大きくかかわっている事例を教えてくださいました。

■どうなる!公民館

以上のように滋賀県では、いろいろと活用策を模索されているとお話でしたが、調べてみると他県でも公民館の新しい運営、活用方法を検討されているところが見つかりました。ある市では、市にゆかりのある若者を主に、まちづくりに関わる人材育成の取り組みの中で「公民館」の活用を学生の目線から考えるプロジェクトが実施されていたり、「アート×社会教育」、「移動式型公民館」といった公民館を拠点とし、ユニークな取り組みをされているところ、また、コロナ禍でも出来る事をと、オンラインを活用し、地域のみならず他県との新しい交流を生み出している公民館の事例などがありました。みなさんの地域はいかがですか？そして、「公民館」はどのように変わっていくのでしょうか？

続いては「私設公民館」のご紹介です。さて、「私設公民館」ってどんな施設でしょう？館長の長砂伸也さんに立ち上げのきっかけからお話を伺いました。

●公民館とは
市町村その他一定区域内の住民のために、実際生活に即する教育、学術および文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする(社会教育法第20条)。

私設公民館とは?～mame Co- (マメコー) の場合～

私設公民館mame Co- (マメコー) 館長
長砂伸也さん

滋賀県湖南市石部にある、「私設公民館mame Co- (以下、マメコー)」は、2018年に湖南市石部に地域おこし協力隊として着任された長砂伸也さんが2020年に立ち上げた私設公民館です。様々なタイミングが重なり石部で私設公民館マメコーを立ち上げました。

なにをやっているかわからないマメコー

●立ち上げたきっかけを教えてください。

長砂さん 若い人がたくさんいるまちなのに、集まる場所がない。何かをする場所、プラットフォームが必要かなと思いつきました。自分自身の居場所が欲しかったこともありますね。

伺った日は、店主さんが週替わりで変わるコミュニティカフェの日。この日も入れ替わり、立ち替わりお客さんがやって来ては店主さんをはじめ、マメコーにいるみなさんと楽しくお喋りをされている光景が続き、地域の気軽に立ち寄れる場となっているのが伺えます。

このコミュニティカフェや、シニアボランティア団体が運営する「健康麻雀」などはマメコーの自主事業、それ以外はレンタルスペース（貸館業務）事業として運営されています。

長砂さん いわゆる一般の公民館と違って、ほぼ制約がないのがこの私設公民館マメコーの特徴です。

と、笑う長砂さん。販売、営業目的OKなので、定期不定期に様々な方がこの場所を活用されているそうです。ただし、「健康麻雀」だけは、お酒を飲まない・タバコを吸わない・お金を賭けない。のルールがあり、このルールを守って麻雀を楽しんでおられるそうです。

無料の駄菓子屋さんをやってみて

十分にプラットフォームとしての機能を果たしているマメコーですが、やはり、なぜ「公民館」と名のるのか気になります。そこには、もうひとつマメコーで開塾している子どもたちの「やってみたいこと」、「知りたいこと」をサポートする「こなん探究塾」が関係しているようです。

長砂さん 地域おこし協力隊の時に、コワーキングスペースの軒先で「無料の駄菓子屋さん」をやってみたんですが、これが面白かったですね。いろんな人の出会いが一気に増えました。特に子どもたち。小学生の子どもが友達が増えました。そこで、今の子どもたちの背景を知ることができ、塾をスタートさせた経緯があります。

●実際の子どもの背景って？

長砂さん 放課後の選択肢、習い事の幅がないことですね。地方は特にその傾向が強いと思います。習えたとしても遠くて家族の負担が大きくなってしまったり、親もやったことがないものを応援したくてもどうしていいかわからない。この様な子どもたちの背景を聞いていくうちに、何か出来ないかと調べていたら“社会教育”を知り、その場が公民館であることを知ります。



自分でつくる「公共」

●そこで私設「公民館」に？

長砂さん 社会教育の場として、公民館以外にも図書館や博物館がありますが、それに比べると公民館って馴染みにくい人も多いと思います。本来の公民館は地域住民の最も身近な学習（教育・学術・文化）拠点であるべきなのに。ちなみに昔の公民館は起業支援やチャレンジショップみたいなこともやっていたそうです。それって、とても大事な場所だと思うし、無料の駄菓子屋さんを経験して「自分でつくる公共」を本格的にやりたいと思って公民館になりました。

子どもたちの「あったらいいな」の学びの場、大人たちの「やってみたい」が実践でき学べる場、社会教育の場としての「公民館」ですね。全国では私設図書館から始まる地域・まちづくりが広がっていますが、「ここ、マメコーからもできるのでは？」と、話すのは、立ち上げの時からマメコーを応援している中土翔太さん。取材当日もマメコーに立ち寄り、時折折出店もし、自身の「やってみたい」を実践されているそう。そんな中土さんにも伺うと、「例えば、まちに映画館がない。「ない」ことにフォーカスするのではなく、自分の好きな映画の上映会をマメコーでやってみる。それによって大なり小なり自分がまちに影響を与えていると実感できる。それが、まちづくり、地域づくりにつながっていくと思いますから。」と、話してくださいました。



●最後に今後のマメコーについて伺いました。

長砂さん いま、たくさんの人にサポートしてもらいながらも一人で運営しているので、これからはみんなで運営していきたいですね。地域市民でつくる公民館、本当の公民館に近づきたいです。僕自身は、こんな場所があったら面白いと思って立ち上げましたが、実際に自分が運営してみたい、面白いと思う人がこの地域にいるのかな。今度は、そこへのチャレンジですね。僕自身、マメコーの運営を通してチャレンジと学びの“社会教育”を実体験しています。

と、笑う長砂館長。マメコーは、みんなでつくる「公民館」となっていくのでしょうか。そして「私設公民館」が広がっていくのでしょうか。これからは注目したいですね。

Profile

長砂伸也さん

私設公民館mame Co-（マメコー）館長

群馬県桐生市出身。公益財団法人でまちづくりに携わった後に民間会社を経て2018年に湖南省の地域おこし協力隊に着任。任期後は石部学区のまちづくり協議会のスタッフとしてまちづくりの支援にも取り組む。「探究心と好奇心を持ち寄る場所」として私設公民館mame Co-（マメコー）をオープン。

私設公民館mame Co-（マメコー）

●2020年8月開館 ●滋賀県湖南省石部中央4丁目4-13

●<https://mame-co.com/>

mame Co-（マメコー）とは

東海道五十三次の51番目の宿場町だった石部には、町内会よりも小さな2-5人の寄り合いがあり、「豆講（まめこう）」と呼ばれる。これは、伊勢参りに向かう団体客を「伊勢講」「大坂講」など「〇〇講」と呼ばれていたのが由来ではないかと考えられ、現在も残る小さな寄り合い「豆講」のような小さなコミュニティがたくさん生まれる場所にしたいと思い、mame Co-（マメコー）と名付ける。



MAMECO_KONAN



地域の公民館の現状、そして「私設公民館」。いかがでしたか。県内のある地域の公民館は以前、社会教育の範疇を超えて様々な立場の人たちの協働の場、「まちづくりの拠点施設」として重要な役割を担っていたと聞きます。地域の「公民館」も「私設公民館」も、私たちのかかわり方によって「こんなことしたい」を叶える場所に作っていけるかもしれませんね。



「元三フード株式会社」

『げんさん食育NPO基金』の想いをお互いに。

～寄付者と採択団体との交流のひとつ～

「お肉のげんさん」といえば滋賀のお肉屋さんとして、みなさん、お近くの店舗が浮かぶのではないのでしょうか。この「お肉のげんさん」を運営する元三フード株式会社さんは、精肉業を中心に幅広く事業を展開されているだけではなく、弊センターの「未来ファンドおうみ」にて『げんさん食育NPO基金』を設立されるなど、地域貢献はもちろん、市民活動の支援にも積極的に力を入れておられます。

この「げんさん食育NPO基金」は、元三フード株式会社創業110周年の記念として、2015年に設立され、ご寄付は、障がいのある子どもたちの健やかな成長を、食育などを通して地域とともに応援していく活動へ助成されています。

2023年度は3団体が採択され、そのうちのひとつ、『特定非営利活動法人NPO子どもネットワークセンター天気村』（以下、天気村）の子どもたちが、寄付者さんとの交流を図ろうと昨年9月末日に「げんさん牧場」を見学。今号は、その時の様子を番外編としてご紹介します。

天気村は、草津市で、子ども、大人、障がいをもつ、もたないに関係なく、自然や遊びのなかから生きいきと過ごす生活を支援する活動をされています。今回は、障がいをもつ、もたない子どもたちが一緒に竜王にある「げんさん谷口

牧場」へ。間近に見る牛の大きさや、その数に最初はびっくりした様子の子もたちでしたが、徐々に撫でたり、餌をやったり一方、牛たちはおとなしく、子どもたちを見守っているようで何とも微笑ましい光景です。ここの牛たちは愛情たっぷりに育てているので人間を信頼しており、少々近づいても大丈夫とのこと。しかし、牛たちは食用です。「大切な命だから大切に育てています。だからこそ、その命を大切に戴いて欲しい。」との、谷口剛社長の言葉に「命に感謝して、戴く。」ことを、子どもたちなりに感じているようでした。

帰る際には、力いっぱい手を振る天気村の子どもたちに、ずっと笑顔で見送る谷口社長。ひと時でしたが直接会うことで、お互いの顔が見え、託す、託される「想い」を共有することは、とても大切で大事なことだと事務局も実感した貴重な一日でした。



最初は大きな牛に戸惑っていた子どもたち、だんだん仲良しに!

- 代表/谷口 剛 ●創業/明治35年
- 本社所在地/滋賀県大津市堅田一丁目1-15
- ホームページ/https://www.gensan-f.co.jp/



Vol.3 呼吸が浅くなっていませんか?

“今”のご自身の呼吸はどのような感じでしょうか？呼吸のペース、浅いか深いか一度ゆっくりと観察してみましょう。もしも「浅いかもれない」と思った方は、まずは呼吸をするときに主に一番動いている“横隔膜”と“肋間筋”を伸ばしていく動きを取り入れてみてください。体が硬くても、ご自宅にあふろしきやタオルを使うと伸ばしやすくなりますので是非お試しください。

田畑里佳 (ARICA)

インド政府公認ヨーガインストラクター。びわ湖が好きすぎて2016年、滋賀に移住。2021年にカラダが硬くても、運動が苦手な人でも楽しく運動できるフロシキを使ったYOGA【FLOWSHIKI】を考案。関西近辺でクラスを開催中。

簡単にできる、ちょっとした「健康法」を日常に取り入れて心身ともに健康に！
合言葉は「VIVA! CHOUJU!!」

ストレッチのやり方

- 1 あぐらの姿勢、または椅子に座った状態でふろしきを肩幅の広さで持ちます。
- 2 左右に揺られながら、脇下、脇腹を伸ばしていきます。
- 3 一度、動きを止めたら今度は両肘を下にゆっくりとおろしながら、胸を左右にひらいていきます。(上下10回程度)
- 4 ふろしきを持った腕は伸ばしたまま、身体全体でゆっくりと大きなマルを描くように動いていきましょう。(左右10回程度)
- 5 終わったら深呼吸して、呼吸がどのように変化したかを観察してみてくださいね。



子ども支援

どんな時も子どもパワーで
突き破れ!

いつの時代にも変わらない子ども達による「子ども時代」を贈りたい! 大人になって実感する一生のエネルギー源としての宝物を子ども達に贈りたい!

そんな使命にかられ、子ども達の「創造的・日常的形成」のため世紀を跨ぎ今もワクワク活動をしているNPO。それが「子どもネットワークセンター天気村」です。

近年の活動例として、子ども達は、コロナ禍、そして終焉後と、激変する社会の中、困難な事(遊び場だった天井川堤防が崩される!)にぶち当たると、めげずにステップアップして、子ども達による子ども発の「あっ走れ!どこでも、だれでもマラソン大会!」を企画、実践。最高パフォーマンスで大会大成功!「丈夫な頭と賢い身体」が育っていることを確信することができました。

こんな風に子ども達と共に子ども達の五感を伴う鋭い感性に触発されフットワークよく変幻自在に天気村は活動ingしています。

活動を続けてきて気づいた事、、それは、、「子どもと大人」「自然と人工」「危険と安全」「偶然と必然」等、互いに相反するすべてのものが混ざり合い、溶け合ったりしてその中から明るい未来に必要な新しい概念や関係が浮かび上がってくる実感です。

こうでなければならない、、なんてない。活動の場には、いつまでも色あせない子ども達の笑顔があり、感動があります。

なんとと言っても子ども達の内側から起こった「ヤル気」は持続可能な実行力があります!

溢れ出すすごい子どもパワー! それこそが「NPO子どもネットワークセンター天気村」のコアエンジンです!



2023年度げんさん食育NPO基金採択団体

NPO子どもネットワークセンター天気村

●代表/山田貴子 ●設立/1999年
●<https://www.biwako.ne.jp/~nt-tenki/>



@TENKIMURA1987

文化振興

楽しいが伝われば100点満点!
～パペットとともに～

大津市で2022年に誕生した、パペットを操りながら歌うユニークなサークル「万歳!!パペッティーン」。代表の宮本香織さんは、かつて子どもと一緒に見た「沢山の鬼のパペットが踊りながら「鬼のパンツ」を歌っている」光景を見て衝撃を受けパペットに興味を芽生えました。ある時「おかあさんといっしょ」などテレビ番組の制作にも携わっていた、大津市のプロの人形劇団「人形劇・トロッコ」さんの「人形劇の図書館」を訪問し「パペットと楽しいことがしたい」という気持ちに共感してもらえたことがサークル結成のきっかけとなりました。

当初は、宮本さんの想いに惹かれ集まった仲間とともに、「トロッコ」さんよりパペット作りの極意や動かし方、見せ方など教わりました。合唱は独学でスタートしたそうです。

初めて人前で歌った時「失敗してもなんとかなった!」とパペット効果を実感。また仲間と作り上げるステージが楽しかったとのこと。

現在は子育て世代から親の介護世代まで、住まいも仕事もさまざまな8人が、月1回 発声の基礎指導を受けて練習中。昨年は地域のマルシェ参加や自主公演など行い、今後は施設訪問なども企画中。「子どもがパペットに見入り、その姿を見守るお母さんが笑顔になることが何より嬉しい!楽しいが伝われば満点です!」「歌っている私たちが癒されてます!」と宮本さん。さらに「一家に一台パペットがあってもいいのでは?」とも。パペットに叱られると、反抗期のお子さんも思わず笑ってしまうそう。楽しいお人柄が伺えます。

メンバーそれぞれに一時的に活動できない時期もありますが、今できる人で、できることをゆるくやり続けたい、戻りたい時にまたいつでも戻れるように…をモットーに、これからもチャーミングなパペットたちの活躍が楽しみです。

♪メンバーは随時募集中! ご興味ある方はぜひ!

パペット&コーラス 万歳!!パペッティーン

●代表/宮本香織 ●設立/2022年8月1日
●<https://ameblo.jp/goroneimo/>

教育支援

自分の職業を自分で決められる 子どもに育ててほしい



子どもの授業サポートや先生の校務支援・研修など、小中高等学校のICT化支援のため日々学校で活躍中の守山市のNPO法人「滋賀ロジカルキッズネットワーク」。今回は代表の世古美和さんにお話を伺いました。

長年、電機メーカーで設計開発に従事したのち、キャリアコンサルタントとして職業相談を受けたり、職業能力開発短期大学の講師も務める世古さん。その経験から、子どもたちにはもっと早い段階からのICT教育が必要ではと痛感され、また格差なく公平にサポートしたいとの思いがきっかけとなり、メンバーとともに学校での支援をスタートされました。

2021年コロナ禍中での支援1年目は「子ども1人に1台」端末が配布されても、使用台数に見合うネットワーク環境が整わない中、トラブル解決に明け暮れたそうです。翌年、ひとまず使える環境が整い、3年目にしようやく活用できるように。ゲームなどで端末に慣れ親しんでいる子どもたちは抵抗もなくのびのびと自由に使いこなし、先生からの一方向ではなく、生徒が自分で調べ先生が個々の学習状況に合わせサポートする双方向授業が可能となりました。今後はデジタル教科書・テストや電子黒板があたりまえとなっていくようです。

ただ、「教育現場の先生だけがこの大きな変化を担うのは負担が大きすぎるのでは？ICTに限らず、外部の様々な人がもっと学校の中へ入っていきけるような環境づくりをして先生を支援したい」そして、「デジタル化が進んだ先も子どもたちの学びやすい環境のサポートをし続けたい」と世古さんはおっしゃいます。

子どもたちが身に着けたICTスキルを活かして、実体験で五感を磨きそれをデジタルで発信したり、早い段階で自分の特性を知り、自分で職業を決められるようになってほしい、そんな気持ちで生徒も先生をも温かく見守る世古さんの様子が目に浮かぶ取材となりました。

NPO法人 滋賀ロジカルキッズネットワーク

●代表/世古美和 ●設立/2020年7月3日
●<https://shigalogicalkids.org/>

Challenger



未来塾17期生の

虫の目・鳥の目・魚の目

地域の課題を発見し、解決のための方策や活動を実践する「地域プロデューサー」が育つことを目指す「おうみ未来塾」。2023年度に募集しました17期生は総勢22名。今回は代表して世話人の4名からコメントをいただきました！



世話人からのメッセージ

■伊東竜成さん Aグループ

世話人を勝手に買って出たもののグループメンバーの皆さまにお世話して頂き、なんとか世話人の役目を続ける事ができました。振り返ってみたら私自身、消極的だったと感じています。これからはグループ活動となりますが17期生一丸となって卒塾できるよう積極的に頑張っていきたいです。

■豊田秀樹さん Bグループ

今からわくわくしています！今まで、地域をプロデュースするという視点はなく、改めてここに集まる仲間と、今はまだないものを創り出すという喜び、何ものにも変え難いと考えています。地域に、仲間へ貢献するという地域プロデューサーを目指し、これから取り組んでまいります。

■荒川博志さん Cグループ

滋賀を愛する多様な仲間がみらい塾に集い第17期塾生として活動することになりました。好奇心溢れるメンバーが考え、語り、行動することで滋賀の魅力を創造します。地域プロデューサーとして成長できるように、素敵な出会いと経験を大切に活動していきますので皆さまの応援をお願いします。

■井上昂大さん Dグループ

塾生の皆様には、暖かく受け入れていただきました。世間話も真面目な話も、すぐ盛り上がりが見えてきました。滋賀について知らないことばかりでしたが、様々なことを教えて頂きました。同じ志を持つ塾生と共に、グループでの実践活動に挑戦できること、とても楽しみにしております。

おうみ未来塾17期生

イベント 2023年度未来ファンドおうみ 助成事業成果発表会を開催します。

【日時】2024年5月18日(土)午後 13:00~17:00(予定)
【会場】滋賀県立県民交流センター 207会議室(ピアザ淡海2階)

■びわこ市民活動応援基金(地域活性化事業)

団体名	事業名
ぼてじゃこトラスト	活動を通して大会員から色々学び、未来のリーダーを育もう!
ういんどあんさんぶる音楽	音楽の力でマルシェを盛り上げ、地域を活性化!
「街かどアート展」実行委員会	「街かどアート展」~みんなの光~
特定非営利活動法人 米原市多文化共生協会	悩みを話して共有する場の提供 エスパッソ アルコ イリス 米原

■びわ湖の日基金

団体名	事業名
海をつくる会 琵琶湖再生プロジェクトグループ	琵琶湖湖底再生プロジェクト
山門水源の森を次の世代に引き継ぐ会	奥びわ湖・山門水源の森での各種研修・観察会実施とテキスト作成
神田山を守り育てる会	里山神田山をみんなの力で魅力ある地域資源として守り育てる事業

■積水化成品基金

団体名	事業名
特定非営利活動法人 甲賀の環境・里山元気会	みんなで作ろう!元気な里山・豊かな里山

■笑顔あふれるコープしが基金

団体名	事業名
ばらでいる	トワイライトばらでいる-夜間の子ども食堂と学習支援等の取り組み
いちあわあ	まなびからつながる堅田の居場所
東近江国際交流協会	のとがわ にほんご きょうしつ 立ち上げと運営

■ナカザワNEOフレンドシップ基金

団体名	事業名
NPO法人 コレジオ・サンタナ	国際交流子ども絵画展 ARTで知ろう 繋がる!ブラジルと日本

■げんさん食育NPO基金

団体名	事業名
特定非営利活動法人NPO子どもネットワークセンター天気村	食育から共育でつくる「じょうぶな頭とかしこい身体」
特定非営利活動法人あめんど	僕らが主役の課外活動「やる気を育む料理教室」
特定非営利活動法人 滋賀自閉症研究会 たんぽぽ	自閉症児が楽しく参加できる料理教室(作業所での体験学習)

■湖国文学活動応援むらさき基金

団体名	事業名
鳩の会	日野俳句を次世代に伝え、日野の活性化につなげたい
風のかけたる	聞き書きでつなぐ山中町の過去・現在・未来

■びわ湖源流の木遣い応援もえぎ基金①

団体名	事業名
一般社団法人このゆびとまれ	薪づくりで障がい者も共に暮らせる社会をつくる

■びわ湖源流の木遣い応援もえぎ基金②

団体名	事業名
東近江市あらゆる場面で木を使う推進協議会	100年の森づくりビジョン 東近江市・あらゆる場面で木を使うプロジェクト

「おうみ良くなる!元気プロジェクト」 What a wonderful Otsu!! vol.2 に出店!!

2023年11月3日、Otsu Living lab主催のマルシェイベントWhat a wonderful Otsu!! vol.2 に淡海ネットワークセンターも出店しました。売上げの一部がびわ湖の日基金に寄付される、元気商品プロジェクトの商品をもっと皆さんに知っていただきたいと、160店舗が集まる一店舗として出店!当日は、天候にも恵まれ約15,000人の来客で賑わい、たくさんの方に元気商品を手に取っていただき、また、寄付付き商品について耳を傾けていただきました。なかには売り切れた商品も!この出店については、昨年の3月末に大津の商店街でおこなわれたイベントに実験的に出店したところ、「びわ湖の日基金」のことや「寄付付き商品」について実際にお伝える、知っていただくことが何より大事だと実感し、今回の出店となりました。

そして、地域のなかに飛び込んでいくこともセンターとしては大きな学びであり、名前を知っていただくチャンス。来年度も機会があれば出店していく予定です。その時は、ぜひ淡海ネットワークセンターを見つけてください!



お知らせ 遺贈寄付に関する 協定締結式を行いました。

関西みらい銀行様と当財団との遺言信託を活用した遺贈寄付に関する協定締結式を2023年12月22日に行いました。関西みらい銀行様の本体業務として行う「遺言信託」を活用し、お客さまの遺志に沿った当財団が運営する「未来ファンドおうみ」への遺贈寄付を行う体制づくりの1つとして今回の締結に至りました。センターでは必要に応じて専門機関にお任せします。どうぞ、ご相談ください。

淡海ネットワークセンターは、県内の市民活動、NPOをサポート・ネットワークしています。

発行日/2024年3月1日 発行所/公益財団法人 淡海文化振興財団
〒520-0801 大津市におの浜1-1-20 ピアザ淡海2階
TEL:077-524-8440 FAX:077-524-8442
https://www.ohmi-net.com E-mail:office@ohmi-net.com
開館日:市民活動ふらっとルーム/火~土曜日(火~全曜日の祝日は休館)
事務所/火~日曜日



未来ファンド
おうみ
この印刷物は
大豆油インキを
植物油インキを
使用しています。

公益財団法人 関西みらい銀行緑と水の基金

滋賀県内において、緑化推進や水環境保全に取り組まれている自治会や住民グループなど地域団体の皆様の活動に対し、助成申請をいただいた事業の書類審査を行い、最大30万円までの助成を行います。
詳しくは、ホームページをご覧ください。